



新年度にあたって

校長 柏木 雅彦

本校は、令和5年4月1日から、茅ヶ崎養護学校の校名を変更し、茅ヶ崎支援学校として新たなスタートをしました。引き続き、共生社会の実現に向け、地域における支援機能を更に発揮し、児童生徒の皆さんの自立と社会参加に向けた、教育内容の一層の充実を図ってまいりますので、保護者の皆様、地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

私は昨年度から引き続き、校長を務めます柏木雅彦（かしわぎまさひこ）です。本校は、今年度で開校から25年になりました。その伝統と実績の重みを大切に、これまでと同様に地域に根ざす開かれた学校づくりを進めていきたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、令和5年度がスタートしましたが、今年度は、肢体不自由教育部門、小、中、高等部、知的障害教育部門、小、中、高等部の全校で233名の児童生徒が在籍しています。学校教育目標を「一人ひとりが輝く教育」とし、児童生徒の皆さんが、笑顔で、安全に安心して学校生活を送ることができるよう、職員が一丸となって取り組んでまいります。

また、感染症の予防には引き続き留意してまいります。水泳指導も再開しますので、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



入学式・始業式を行いました

4月5日（水）、令和5年度の入学式及び始業式を行いました。今年度は、72名の新入生が入学し、B中3年生に1名の転入生を迎えました。

入学式では、これから児童生徒の皆さんに、たくさんのことを経験し、学び、成長していく喜びを味わってもらうために、自分でできることを一つでも増やしてほしいと話しました。

また、始業式では、自分なりの表現であいさつをすること、目標を決めて努力すること、自分でできることは自分でやることをお願いしました。

質の高い教育の実現に向けて

今年度も、教職員の専門性を向上するための研修を計画的に実施していきます。具体的には、言語聴覚士（ST）、理学療法士（PT）、教育相談担当、進路支援担当、情報推進担当等による各分野に関する研修や、ベテランの教職員等による得意な分野に関する研修を計画しています。

また、直近の3年間は水泳指導を実施していませんので、今年度の再開に向け、安全に実施できるよう水泳指導に関する事前研修も行います。

なお、今年度、校内組織に「共生社会推進担当」を専任で配置しました。この担当は、共生社会の実現に向けた地域との連携業務や、児童生徒の皆さんが地域で様々な活動に取り組むことができるようにするための学びの場の開拓等を行います。

（校長）